

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年1月30日作成)

小委員会名	親水とSDGs小委員会		主査名：上山 肇 就任年月：2022年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (水環境運営委員会)		委員長名：大岡龍三 主査名：笠井利浩
設置期間	2022年4月 ～ 2024年3月		
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会では、新たに社会における環境面において大きなテーマとなっている「SDGs」を取り上げ、親水を取り巻く環境問題について広くSDGsと関連させながら発信していくことを目的としている。</p> <p>初年度：各委員が今まで取り組んできた親水に関する研究を今一度「SDGs」に照らし合わせ検討したものについて報告してもらい議論を重ねる。 2年度：初年度に検討したものをSDGsの17の指標に照らし合わせながら整理する。その成果については、水環境シンポジウム等の発表も行うことで社会への還元をはかった。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：上山 肇 (法政大学) 幹事：菅原 遼 (日本大学) 委員：学市川 尚紀 (近畿大)、田中 貴宏 (広島大学)、飯田 哲徳 (建設技術研究所)、岡村 幸二 (建設技術研究所)、畔柳 昭雄 (日本大学)、村川 三郎 (広島大学)、小海 諄 (野村総合研究所)、佐々木 美貴 (江戸川区子ども未来館)</p>		
設置WG (WG名：目的)			
2023年度予算	45,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：	

項目	自己評価
委員会開催数	5回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	<p>第47回水環境シンポジウム [2023/7/18, 建築会館ホール+Zoom ウェビナー] 「公と私の場をつなぐ試み—水辺の公私計画論—」</p> <p style="text-align: right;">参加者数 38名</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 5回の小委員会開催 (オンライン) を通して、10名の委員の研究内容と「SDGs」との関連性について議論を行なった。
委員会活動の問題点・課題	1. 2023年度は現地調査を実施出来ていないため、2024年度は親水空間とSDGsとの関連性の高い事例について、適宜現地調査を実施したい。

- *小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- *中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2023年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p style="text-align: center;">2022年度に発足した本小委員会は、今年度計5小委員会を実施することができた。</p> <p style="text-align: center;">初回の設立趣旨説明から始まり、以降、各委員に自身のこれまでの研究とSDGsとの関わりに関連させながら毎回発表者を決め持ち回りで発表をしてもらっている。2023年度も同様に実施することができた。</p> <p style="text-align: center;">そのことを通して親水とSDGsとの係わりについて委員相互に議論しながら確認することができている。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価(シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など)に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。